

フェルコンSーⅡ

砂付アスファルト・アスファルトなど
地面に対応する清掃不要簡単プライマー

フェルコンSーⅡは様々な場所に対応する簡単プライマー

フェルコンS-Ⅲは砂付きアスファルトルーフィング・アスファルト面を清掃無しに使用出来るプライマーです
改修工事の現場では経年変化・破損・飛散した砂など各現場によっては撤去や入念な清掃が必要になりますが、
フェルコンSーⅢは塗布するだけで既存のアスファルトシートを再利用するので施工中の降雨による漏水・養生の
心配がなくなるほかコストダウンに加えゴミを最小限にする事により環境への配慮が出来るプライマーです



施工前



フェルコンS-Ⅱを施工



P-Ⅱを施工

施工例：ウレタン防水層を剥がしていた所、浮きや割れがあり剥がしてみると下地にアスファルト防水層があり密着処理の為フェルコンSーⅡを塗布後不陸調整の為弊社のP-Ⅱ（無機変換材）を施工後モルタルで勾配と不陸調整をしてからウレタン防水を実施

特徴

- フェルコンSーⅡは従来品に比べ乾燥時間が大幅に短縮しました（25℃時最短3時間）
- 施工面にある砂・コケ・ゴミも固めてしまう為、完全な掃除が不要
- 一液性なので施工管理が容易
- 状況に応じて撒いて伸ばすので施工が早い
- ウールローラーやハケ・エアレスでの施工可能
- アスファルトを溶解してクラックに入り込み、再度固まるので簡易防水が可能

用途

- アスファルトシート面の防水工事のプライマーとして
- 砂付アスファルトシート面の改修工事のプライマーとして
- 残存アスファルトとコンクリート面のプライマーとして
- コンクリートの簡易的なクラック補修（5号珪砂を撒いてジェットオイラーで流し込み）

施工要領

- 大きな破れ・欠損部は予めシールなどで処理してください
- 仕上に問題が生じる大きなゴミは除去してください
- 現場に応じて撒いてウールローラーで伸ばすかエアレスで施工してください
- 新規コンクリートの場合表面のノロ・レタンスを除去してください
- アクリル・エポキシ・ウレタン等は各メーカーのプライマーから施工してください
- 水勾配や不陸調整が必要な場合はフェルコンS-Ⅱ施工後P-Ⅱで無機変換しモルタルなどで施工してください

【養生】 0.25 g/m²使用時 4時間以上（25℃時）

施工の様子【アスファルトクラック補修】



クラックをVカットし5号珪砂を散布 ジェットオイラーでクラック部に注入 24時間後（25℃）完全に一体化

施工上の注意

- フェルコンS-Ⅱは溶剤型でアスファルト面を溶かして溶着しますので何回もローラーで転がさずに1発で仕上げてください
（何回も転がすと溶けたアスファルトが上がって剥離や・ブリードの原因になります）
- 本製品はプライマーの為、必ず上塗りが必要です

荷姿・塗布量

容量：3Kg缶 15Kg缶

標準使用量：250 g/m²

標準施工面積：12m²/3Kg缶
：60m²/15Kg缶



フェルコンS-Ⅱ 物性・性能データ



成分	ビニールエステル樹脂・塩化ビニール共同重合体
外観	淡黄褐色
粘度	450~500mPa・s (25℃)

乾燥時間	3~6時間 (25℃)
上塗可能時間	6時間以上 (25℃)

試験項目	試験条件	
耐水性	水道水3ヶ月漬込	◎
耐塩水性	3%食塩水3ヶ月漬込	◎
耐酸性	10%希硫酸3ヶ月漬込	◎
耐アルカリ性	10%苛性ソーダ水溶液3ヶ月漬込	◎

試験項目	試験条件	
耐候性	Sカーボンアーク255w/m ² 100h	◎
耐油性	機械作動油6ヶ月漬込	◎
耐溶解性	トルエン3ヶ月漬込	◎
耐溶解性	アセトン3ヶ月漬込	◎

●下地密着性

試験項目		試験項目	
アスファルトシート	◎	RCコンクリート	◎
砂付アスファルトシート	◎	モルタル	◎
舗装用アスファルト面	◎	合板	◎
ノンアススレート板	◎	金属	◎
ケイカル板	◎	旧塗膜	△※1
砂面	◎	ポリプロピレン	×
土面	◎	ポリエチレン	×
砂利面	◎	ゴムシート	×

●上塗材料密着性

試験項目		試験項目	
一液性ウレタン防水材	◎※2	水性塗料	◎※2
二液性ウレタン防水材	◎	油性塗料	◎
アスファルトシート	△※3	モルタル	◎※4
シート防水	◎	加硫ゴム	◎※2
FRP防水	◎※2	エポキシ	◎※2

※1：水性塗料は膨潤の恐れあり、脆弱塗膜は撤去してください
 ※2：各社推奨のプライマーが必要
 ※3：冷工法は可能、トーチ工法は不可
 ※4：弊社製品P-Ⅱを使用後施工

●上記のデータは研究所内の成績であり実際の現場での保証ではありません

取扱上の注意

- 保管温度は5℃以上40℃以下で保管してください
- 直射日光を避けて、常温で保管してください
- 落下・破損がないように、荷崩れ防止等の配慮をしてください
- 河川・側溝などに絶対に廃棄せず、産業廃棄物として各自治体の規定に沿って処分してください

安全上の注意

- 目・皮膚などの接触を防止するために、保護メガネ・保護手袋など着用してください
- 目に入った場合は、清水で数分間洗浄し直ちに医師の診断を受けてください
- 皮膚に付着した場合は、肌荒れを起こす事がありますので直ちに水洗いをしてください
- 誤って飲み込んだ場合は大量の水を飲み吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください
- 地下室や空気がこもる箇所は換気に十分注意してください
- 施工時は火気厳禁とし炎・火花・熱源から遠ざけてください

詳細な内容につきましては製品安全データシート（SDS）をご参照ください
 記載内容は製品改良などにより、断りなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください